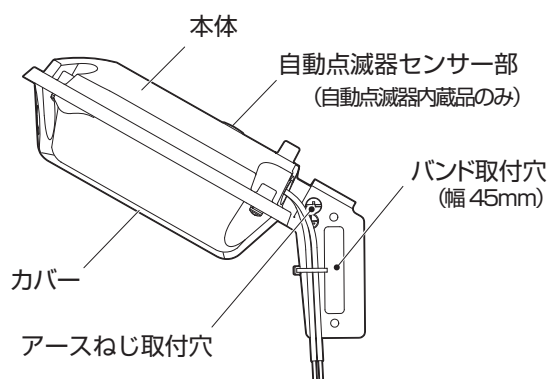


各部の名称

- 取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 安全のため手順通りに正しく取り付けてください。

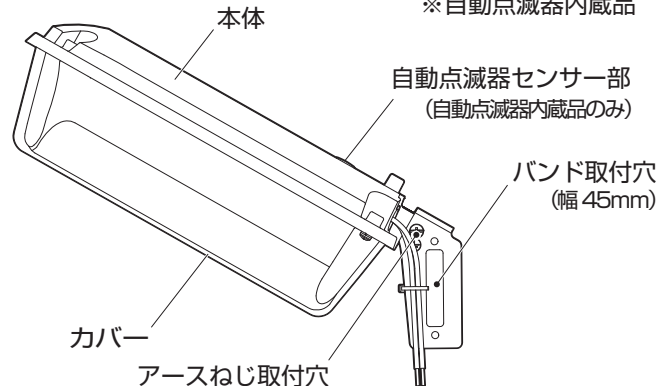
■10VAタイプ

IRLDBH10-V2A / IRLDBH10A-V2A※
※自動点滅器内蔵品



■20／40VAタイプ

IRLDBH20-V2A / IRLDBH20A-V2A※
IRLDBH40-V2A / IRLDBH40A-V2A※
※自動点滅器内蔵品



仕 様

品 番	自動点滅器	全光束 (lm)	設置間隔 (m)	定格電圧 (V)	電源周波数 (Hz)	定格消費電力 (W)	質量 (kg)	電力会社申請 入力容量(VA)	LED モジュール 設計寿命※
IRLDBH10-V2A	－	970	クラス A 14 クラス B 19 クラス B+ 16	100 - 242	50／60	8.1	0.52	8.2	(時間) 60,000
IRLDBH10A-V2A	内蔵								
IRLDBH20-V2A	－	1470	クラス A 17 クラス B 29 クラス B+ 28			12.2	0.95	12.3	
IRLDBH20A-V2A	内蔵								
IRLDBH40-V2A	－	3720	クラス A 32 クラス B 42 クラス B+ 41			30.8	1.05	30.9	
IRLDBH40A-V2A	内蔵								

●使用温度範囲：－20℃～ 35℃

※LEDモジュール設計寿命は器具が点灯しなくなるか、器具光束が70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

取り付け場所と周辺環境の確認

長期間安全で快適に使用できるように、本書の施工説明にしたがって取り付けてください。

取り付け部の強度を確保してください。

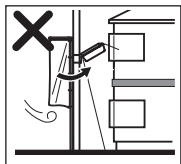
設計耐風速は 60m/s ですが、取り付け状態や長期間の設置により、実際の耐風速は変化することがあります。



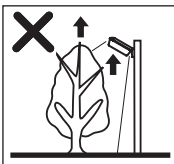
●器具には風圧により大きな荷重がかかります。施工時は落下による重大事故を防ぐために、設置場所の気象を考慮しながら、取り付け強度を十分に確保してください。●本器具は下向き照射専用です。それ以外の向きで取り付けると、内部浸水による感電や故障、器具落下などの原因になります。

以下のような場所には、取り付けたり近づけたりしないでください。

- 住宅の壁や窓に近接した設置
- 風によって器具に可燃物が接触する場所



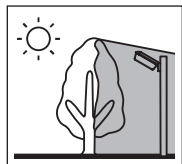
- 木々の枝葉が成長して接触する場所
- 器具周辺の枝葉は定期的に剪定してください。



器具の熱で可燃物が発火したり、器具自体が故障や火災をおこすおそれがあります。

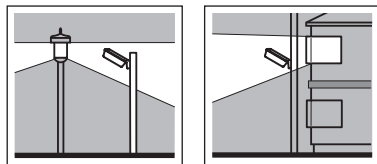
自動点滅器内蔵の製品は、設置環境により以下の動作をすることがあります。設置前に周辺環境をよく確認してください。

- 昼間でも暗い場所 (木かげ、ひさしの下などの影部)



周囲が暗くなる前に点灯、明るくなった後も消灯しないことがあります。

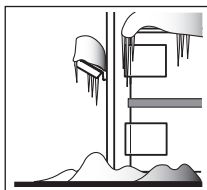
- 夜間でも明るい場所 (街灯や家屋の照明が当たる場所)



自動点灯しない場合がありますので、おすすめできません。

- 器具上部への積雪や氷結

付着した雪や氷は、こまめに除去してください。



器具の故障原因になったり、自動点滅器内蔵の製品では、自動点滅動作に影響を与えたりすることがあります。

取り付けかた



警告 器具の重さや風圧に耐えるところに取り付けてください。取り付けが正しくないと、落下による重大事故の原因になります。

1 鋼管柱への取り付け

- 取付バンドは別途ご用意ください。市販のステンレス製、または亜鉛めっき鋼板製のバンドを使用してください。

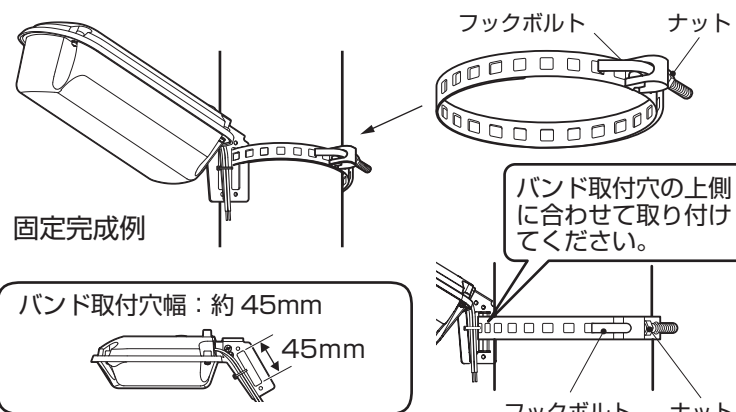


警告 手順通りに正しく行ってください。正しくないと器具が落下する原因になります。器具が安定しないときは複数本使用してください。

■柱の直径がφ130～370mmの場合

適合径 (mm)	推奨取付バンド (別売)
φ130～195	IBT-308 同等品
φ195～350	IBT-312 同等品
φ195～370	IBT-212 同等品

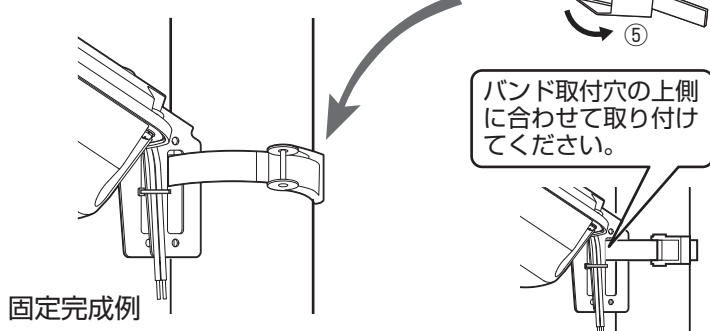
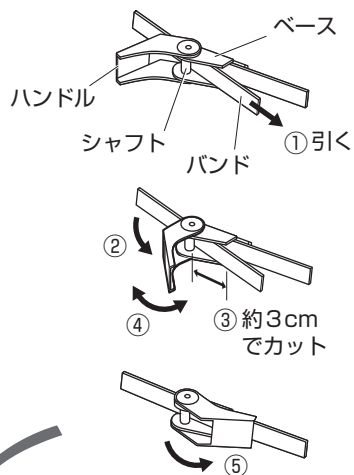
- ①器具本体のバンド取付穴にバンドを通す。
- ②フックボルトをバンドの穴に引っ掛ける。
- ③ナットを締め付ける。(締め付けトルク：24N・m)



■柱の直径がφ60～130mmの場合

適合径 (mm)	推奨取付バンド (別売)
φ60～130	SFT-N206 同等品

- ①バンドの先端をシャフトの間に通して引く。
- ②たるまない程度にバンドの長さを調整し、ハンドルを 90° 起こして仮止める。
- ③ハンドルの先端の余った部分をシャフトから 3cm の位置で切る。
- ④ハンドルを往復させてバンドを締め付ける。
- ⑤ハンドルをベースにはめる。



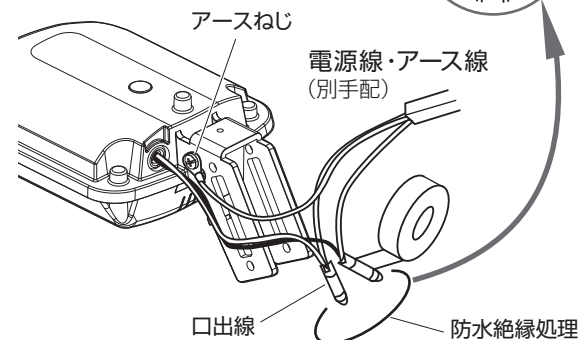
2 電源線・アース線の接続

- ①電気設備の技術基準省令第7条にしたがい、電源線と口出線の白と黒の線を圧着端子や JIS C 2806 準拠のスリーブで結線する。
- ②器具本体のアースねじを使用して、D 種設置工事を確実に行う。
- ③接続部は自己融着絶縁テープなどで防水性のある絶縁被覆処置を施す。絶縁被覆処置は導体部分とシース (外皮) を含めて行う。



- 接続が不完全な場合、接続部の発熱により火災の原因になります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い行ってください。不完全な場合、感電・火災の原因になります。
- 接続部の防水処置が不完全な場合、漏電や感電、または腐食による故障の原因になります。

自己融着絶縁テープなどで結線部を防水処置した後に、結線部の水滴滞留防止のため上に向けてください。



結線部の配線長さは、万一の落下に備えてできるだけ短くしてください。

※説明のため鋼管柱は省略しています。

3 器具の点灯確認

器具に通電し正常に点灯することを確認してください。

自動点滅器内蔵の製品は、日照が十分にある時間帯に必ず以下の点灯・消灯動作確認を実施してください。

[点灯] 器具が消灯していることを確認し、自動点滅器のセンサー部を遮光性の高い黒い布などで覆い、20～30秒程度で点灯することを確認してください。

[消灯] 覆いを取り去り、消灯することを確認してください。明るさを検知してから数秒で消灯します。



警告 器具を覆った状態で長時間点灯しないでください。器具の短寿命や火災の原因になります。

自動点滅器センサー部	
●自動点滅器動作照度	
点灯時照度	消灯時照度
約40 lx	約100 lx